

学校名	江戸川区立南篠崎小学校	対象学年と人数	3年生（85名）
活動名	小松菜を育てよう		
指導者	学内指導者：前澤香織 亀田昌浩 塩塚由美子 学外支援者：ハッピーグリーン（本校保護者ボランティア） （役割分担）		

目標

○自分たちで小松菜を育てる活動を通して、小松菜を育てる農家の工夫について考える。

成果

- 社会科において、江戸川区の農業では小松菜作りがさかんなことを学んだ。小松菜を作る農家の方々の苦勞や工夫、思いについて考えた。
- 総合的な学習の時間において、ハッピーグリーンの方々にご協力いただきながら、小松菜の種をまき、小松菜作りに取り組んだ。種をまいた後、うねを黒いビニールと不織布で覆ってビニルハウスのように暖かくした場合と、黒いビニールだけ覆った場合との小松菜の育ち方の違いに気づくことができた。それぞれの地面に触れながら、地面の温度の違いに目を丸くしながら驚いていた。社会科の学習で学んだことを、総合的な学習の時間において実際に自分たちで体験してみることで、生き生きとした発見をすることができた。

感想・課題

- 収穫は、3学期に行う予定である。いろいろな小松菜料理についても調べたので、自分たちで育てた小松菜を収穫して食べるのを子供達はとても楽しみにしている。
- 行事や天候により、種まきが当初の予定よりも少し遅れてしまった。
- 土の耕し、うねづくり、ビニール・不織布かけ、間引きなど、ハッピーグリーンの方々にご協力いただき、大変ありがたかった。
- 活動を継続していけるよう、活動内容や学習内容を記録する。児童、教師、ボランティアの方の役割を考え、年間の活動を計画的に位置づけ、より効果的な学習をしていけるようにする。

学校名	江戸川区立南篠崎小学校	対象学年と人数	3年生（86名）
活動名	地球のかんきょうにやさしい生活を学ぼう		
指導者	学内指導者：前澤香織 亀田昌浩 塩塚由美子 学外支援者：NPO 法人えどがわエコセンター イノシシ倶楽部 (役割分担)		

目標

- 環境にやさしいこと、やさしくないことを学ぶ。
- 日常生活の中で、環境に対してできることを考える。

成果

- DVD視聴では、「エコガイダー」という地球の環境を守るヒーローが登場し、3年生の子供たちにとっては楽しくわかりやすい内容だった。ストーリーを通して、日常生活の様々な場面における環境にやさしいことに気づくことができた。
- ecoカプセルの中に入っているパズルを完成させて出来上がった絵や、ポスターの間違え探しから、環境にやさしいことを考えることができた。
- 子供達は、ecoについて、エコバックを使う、ペットボトルのリサイクルなど何となく知っていたが、ペットボトルの正しいリサイクルの仕方や、ソーラーパネルやエコカーなどがあることなど、新しく知ったことも多く学びが深まった。学んだことを実生活に生かしていきたいという意識も高まり、学校生活での紙のリサイクルにも今まで以上に気をつける姿が見られるようになった。

感想・課題等

- リサイクルして出来たいろいろな製品（ポリ袋、ガムテープ、ネクタイ、白衣など）を実際に見せていただき、形が変わって生まれ変わり、日常生活に役立っている物がたくさんあることに子供達は気づき驚いていた。
- 保護者にも広く知っていただくために、学校公開週間中に授業を設定した。平日のため、保護者の参観は土曜日よりも少なめではあったが、保護者の方々も興味をもって参観してくださっていた。また、近隣の保育園の子供達もちょうど来校中で少し参観に立ち寄った。環境学習について、3年生児童以外の人達にも広まることができよかった。
- 今回の学習でわかったこと、学んだことを、一人一人が日常生活において実践していくこと、続けていくことが大切だと考える。単発の授業で終わらせずに、他教科と関連付けて考え取り組んでいけるように工夫していきたい。
- 学校全体でも計画的に環境について学ぶことができるよう、どの学年で何をどこまで学習するかについて指導計画を精選していく必要がある。

